

「笑顔・ありがとう・夢」～可茂特別支援学校の今～

可茂特別支援学校長 保 義博



可茂特別支援学校は、2011年(平成23年)、可茂地域における特別支援教育の拠点として誕生しました。現在では、児童生徒数県下一の特別支援学校として、元気いっぱいの児童生徒が日々学び、成長しています。

若葉の間からこぼれあふれる光をイメージした校章と、地域で学び、地域で生きていく喜びを歌詞に紡いだ校歌とともに、本校の歩みは始まりました。校歌の歌詞から生まれた、「笑顔・ありがとう・夢」という校訓のもと、児童生徒一人一人がそれぞれの笑顔で、それぞれの色の光を輝かせ、**ありがとう**を伝え合いながら笑顔をつなぎ、仲間とともに、地域の中で夢に向かってたくましく生きる力を育んできました。

また、本校は国際色豊かな学校として、多様な文化や背景をもつ仲間と共に学び合う中で、互いを認め合い、支え合う心を大切にしています。多様性を力に変え、豊かな人間関係を築くことが、児童生徒の成長を支えています。

2023年(令和5年)には新校舎(東棟)が完成し、新たな一步を踏み出しました。児童生徒一人一人が、それぞれの色で、太陽のように明るく輝き、地域という大地に、優しく、そして力強く貢献していくことを願い、歩み続けています。職員一同、元気にあふれた児童生徒が、地域の中で心豊かに生きていけるよう、教育活動に全力で取り組んでまいります。

保護者の皆様、地域の皆様、そして関係者の皆様には、今後とも本校の教育活動へのご理解とご協力を心よりお願い申し上げます。

